

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

971

観光基盤整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光基盤整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	訪れた人が、安全・安心で快適に過ごせるよう観光施設の整備を行う。		観光客受入体制の整備の一つとして、観光施設等を整備し、観光地としての魅力向上と、観光客の満足度を上げ、観光客数の増加につなげる。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		○友ヶ島野奈浦棧橋の整備に係る潮流調査 ○和歌浦観光遊歩道の整備	○友ヶ島野奈浦棧橋の設計 ○和歌浦観光遊歩道の整備	○友ヶ島野奈浦棧橋の整備 ○雑賀崎灯台外壁改修工事	○友ヶ島野奈浦棧橋の整備(繰越) ○雑賀崎灯台外壁改修工事(繰越) ○友ヶ島潮流調査 ○観光案内版改修 ○わかちか広場の整備	観光案内板、友ヶ島の整備等

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	85,000	40,671	0	102,225	568,947	220,000	14,228	0	14,288	0
伸び率(%)	286.4%	△50.7%	△100%	151.3%	0%	115.2%	△97.5%	△100%	0.4%	0%
人件費	正規職員	11,481	12,024	11,444	11,211	11,629	12,179	13,986	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,481	12,024	11,444	11,211	11,629	12,179	13,986	0	0
国庫支出金	38,250	15,950	0	47,243	111,091	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	1,311	0	0	0
市債	42,000	17,325	0	49,800	457,800	162,800	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	4,750	7,396	0	5,182	56	57,200	12,917	0	14,288	0
所要人数(人)	正規職員	1.48	1.55	1.47	1.44	1.48	1.55	1.78	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	観光案内板、雑賀崎灯台周辺の整備、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備	件	目標値	3	2	2	6	2
			実績値	1	1	0		
			達成度(%)	33.3%	50%	0%	%	%
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	目標値	7,060	7,090	7,120	7,150	7180
			実績値	4,653	5,629	6,279		
			達成度(%)	65.9%	79.4%	88.2%	%	%
成果指標	友ヶ島来島者数	人	目標値	78,960	82,640	86,320	90,000	93000
			実績値	43,488	47,912	48,951		
			達成度(%)	55.1%	55.7%	56.7%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	2025年の大阪・関西万博を見据え、インバウンドを含む多くの観光客が安心して訪れ、快適に楽しんでもらえる受入環境整備を進める必要がある。
見直し・改善内容	快適で安全な観光地づくりを実現するため、今後更なる増加が見込まれるインバウンドにも対応した観光客の受入環境の整備や、各ターゲットに向けた新たな魅力作りに向けた準備に引き続き取り組んでいく。